



爽やかな朝を満喫



毎年、駅前広場で行われているラジオ体操。朝のさわやかな空気の中、ご近所の方が集まり心地よい汗を流します。

しかし、この日はいつもと少し違い、小中学生の子どもたちがたくさん集まっています。7月26日、夏休みの始まりです。毎日の日課にしている方々も、「今日から賑やかでいいね」と笑顔になり、広場にも活気が溢れます。

体力づくりや、健康づくりはもちろんですが、ご近所同士のつながりや、異世代間の交流にもラジオ体操が役立っているようです。

交通安全を願って

「ストップ・ザ・交通事故」～めざせ安全で安心な北海道～をスローガンに、第33回妹背牛町交通安全無事故祈願ゲートボール大会（町交



通安全協会主催）が8月8日、役場庁舎裏のゲートボールコートで開催されました。参加者はゲートボール同会や交通

安全協会など24名。開会式では北井欣一大会長より「8月7日現在で町交通事故死ゼロが3268日となりました。交通安全意識を集結し、記録を延ばしていきましょう」と挨拶。

大会では参加者がスティックでの鮮やかなボールさばきを披露。はつらつとしたプレーが光っていました。初心者にはアドバイスを送るなど和気藹々とした大会となりました。

サンスベリアの花

町民会館に飾ってある「サンスベリア」に花が咲きました。熱帯地域に生息し、60種類くらいある葉模様が美しい観葉植物です。葉が虎模様をしたものが多いことから「トラノオ」という別名もあり、マイナスイオンを多く放出する

うことも知られています。何年育ててもいいことでも知られています。そんな「サンスベリア」を大切に育てて来られたのが1区に住む南志保子さん。長年育てていて、初めて鉢

cmくらいの白い花で、良い香りを放ちます。
花言葉は永久、不滅。
(7/26撮影)



夏休みも規則正しく

夏休みを目前に控えた7月22、23日、夏休み中も早寝・早起き・朝ごはんの規則正し生活を送ってもらあうと「子ども朝活」(主催:町教育委員会)が実施されました。対象は小学生で参加したのは1年生から6年生までの16名。朝6:30からのラジオ体操に始まり、朝食作り。

自分たちで作ったご飯をみんなで食べます。

その後は約1時間の宿題タイムを経て、楽しみにしていた陶芸体験。陶芸クラブの方々にお手伝いしてもらいながら作業を進めます。出来上がりを楽しみにしながら、一生懸命にお皿やカップなどを作り上げていました。



浴衣姿で気分は織姫

8月3日妹背牛保育所で例年行われている七夕まつりが開催されました。保育所グラウンドの中央には園児たちが作った飾りが付いた大きな七夕飾りが設置され、願い事を書いた短冊を手にした園児たちが、お父さん、



お母さんに手伝ってもらいながら結んでいました。かわいい浴衣や甚兵を着た園児たちは満面の笑顔で写真撮影をすると、いよいよお待ちかねの盆踊り。七夕飾りを囲んで親子で楽しく踊りました。

元気いっぱい踊った後は、ごほうびのおやつをもらい、みんなで花火を楽しみました。

白球を追いかけて



第10回妹背牛野球少年団カップ争奪少年野球大会(主催:妹背牛野球少年団)が7月15・16日妹背牛小学校グラウンドで開催されました。近隣より5年生以下で構成された8チームが集結しました。開会式では鈴木正彦大会長が「皆さんのこといつもサポートしてくれている家族への感謝の気持ちを忘れず、元気なプレーを見せて下さい」と挨拶。

小学生らしいはつらつとしたプレーが繰り広げられ、応援に駆け付けた観客から、大きな声援と拍手が送られました。優勝は「深川ヤングスターズ」、準優勝は「妹背牛エンジエルズ」の結果となりました。

獅子舞通じ縁深まる

7月27~29日の日程で視察のため道内を訪れていた富山県入善町の方が、同月28日本町に来町されました。平成25年には妹背牛獅子舞発祥の地である入善町へ獅子舞保存会が訪れている経緯もあり、本町を是非訪問したいと今回の視察行程に組み込んで下さいました。笠島春人入善町長を始め、同町議会議長を含む5名の方が役場に来庁され「郷土文化である獅子舞を通じこれからも交流を深めていきたい」と笠島町長が挨拶。「獅子舞保存会が、入善町を訪れた際には、大変温かいおもてなしを受けた」と、寺崎町長より感謝の言葉が述べられました。獅子舞保存会役員の皆さんも

出迎え、歓談するなど楽しい時間を過ごされました。

